**返信先 e-mail：jitsugaku@jili.or.jp　FAX：03-5220-9090　(公財)生命保険文化センター　高等学校担当行**

**「君とみらいとライフプラン」に関するアンケートのお願い**

日頃より当センターの高校向け副教材「君とみらいとライフプラン」をご利用いただき誠にありがとうございます。さて、この度「君とみらいとライフプラン」をより良くしていくために、今後の参考といたしたく、実際にご利用いただいている先生方にアンケートのご協力をお願いしたく存じます。つきましては、お忙しいところ大変恐縮ではございますが、ご回答の上、当センターまで本アンケートをメールかFAXにて送付いただけましたら幸いです。ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

**≪該当する箇所に丸を付けてください≫**

**【教材の入手について】**

**Q1.本教材をどのようにして知りましたか。（複数回答）**

1. FAXを見て　② ホームページを見て　③ 口コミ　④ 当センターの夏季セミナーに参加して

⑤ 昨年度から継続して使用　⑥ その他[　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　]

**Q2.本教材を選んだ理由はどれですか。（複数回答）**

① わかりやすいから　② 授業のテーマに合うから　③ ワークが良いから　④ 無料だから

⑤ 公正中立な団体が作成しているから　⑥ 当センター旧教材「生き生きTOMORROW」を使っていたから

⑦ その他[　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　　　　　　　 ]

**【教材の利用について】**

**Q3.本教材の使い方はどれですか。**

① 授業で使う教材として　② 参考資料として　③ 夏休み等、長期休暇の課題として

④ 新型コロナウイルス感染症の影響による分散登校や休校期間等の課題として

⑤ その他[ 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　]

**Q4.本教材を授業で使う場合、授業科目はどれですか。**

1. 家庭基礎　②家庭総合　③総合的な学習　④その他[ 　　　　　　　　　　　　　 ]

**Q5.本教材を授業で使う場合、授業時間は全部でどれくらいですか。**

1. ～30分　②30分～1時間　③1～２時間　④その他[ 　 時間]

**Q6.本教材を授業で使う場合、授業のねらいは何ですか。**

**Q7.本教材の「教員用手引き」を使用しましたか？**

①使用した　②使用していない

**Q8.「教員用手引き」に関するご意見・ご要望等、自由にご記入ください。**

以下、QRコードよりご確認いただけます

**Q9.本教材とあわせて、当センターHPよりダウンロードできる50分授業セット**

**「生活設計とリスクへの備え」（パワーポイント副教材）を使用しましたか？**

①使用した ②教材は知っているが、使用していない ③この教材は知らなかった

**Q10.本教材とあわせて、当センターHPよりダウンロードできる50分授業**

**セット「事例から考えるリスクマネジメント」（パワーポイント副教材）を**

**使用しましたか？**

①使用した ②教材は知っているが、使用していない ③この教材は知らなかった

**裏面へ続く**

**返信先 e-mail：jitsugaku@jili.or.jp　FAX：03-5220-9090　(公財)生命保険文化センター　高等学校担当行**

**Q11.** 「**Q9・Q 10」のパワーポイント副教材に関するご意見・ご要望等、自由にご記入ください。**

**【本教材の内容について】**

**Q12.使用した項目（または予定の項目）はどれですか。（使用したもの全てに☑）**

|  |  |
| --- | --- |
| テーマ | 内容 |
| 1.生活設計 | □（WORK1）30歳になったときの自分を描いてみよう。　□さまざまなライフコース□生活設計に必要な3つの要素　□人生の3大費用　□ライフサイクルの変化 |
| 2.職業と働き方 | □（WORK2）将来就きたい職業について考えてみよう。　□働く目的は？　□働き方の違い　□給与明細の見方と1ヵ月の支出例 |
| 3.結婚と家族 | □（WORK3）「結婚」について考えてみよう。　□独身のよいところ、結婚のよいところ□50歳時の未婚率と平均初婚年齢　□結婚にかかる費用　□共働き世帯の増加 |
| 4.子育てと教育 | □（WORK4）「教育」にかかる費用を考えてみよう。　□保育所・幼稚園にかかる費用□小学校～高等学校までの教育費　□大学・短期大学・専門学校の教育費 |
| 5.住まい | □（WORK5）将来の住まいについて考えてみよう。　□持ち家と賃貸の違い□地域別の住宅価格　□住宅ローンとは？ |
| 6.高齢期 | □（WORK6）高齢期の生活と費用を考えてみよう。　□1ヵ月の平均支出の比較　□生涯収入と生涯支出　□平均寿命と健康寿命　□介護に要する費用 |
| 7.リスク | □（WORK7）身の回りにひそむ「リスク」を考えてみよう。　□リスク管理の考え方□生活設計に重大な影響を与えるリスク　□リスクに備える3つの保障 |
| 8.公的保障 | □（WORK8）困ったときに受けられる公的保障を考えてみよう。　□社会保障制度の概要　□公的医療保険　□公的年金保険　□「足の骨折で入院したら」□「もしも、働き盛りの世帯主が亡くなってしまったら」 |
| 9.私的保障 | □（WORK9-1）私的保障について考えてみよう。　□私的保障の考え方　□預貯金と保険　□保険のしくみ　□生命保険と損害保険　□生活設計と生命保険□リスクに対していくら備える　□（WOR9-2）万一の場合、残される家族にいくら必要？ |
| 10.ライフプラン | □ライフプラン表　□シール　□ライフプラン表作成シート |

**Q13.その他本教材に関するご意見・ご要望等、自由にご記入ください。**

**ご協力ありがとうございました。**

以下はご記入いただける方のみで結構です。

|  |  |
| --- | --- |
| **学校名** | **立　　　　　　　　　　　　　　　　高等学校** |
| **（フリガナ）** |  |
| **お名前** |  |
| **お電話番号** |  |
| **メールアドレス** |  |

※ご記入いただきました個人情報は当センターからの講師派遣や副教材等、学校教育活動に関するご案内等にのみ活用させていただきます。

※当センターでは、副教材等、学校教育活動について広く忌憚のないご意見をいただきたいと考えております。

当センターよりお電話もしくはメールにて、ご意見をお伺いする場合がございますので、あらかじめご了承ください。

ご協力のほどよろしくお願いいたします。